

未来そうぞう科学習指導案

1年3組 早野 優一

1. 単元名 Aだいすき じぶん 「みらいの じぶんを そうぞうしよう」

2. 研究主題

未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

(1) 単元について

子どもたちは、これまでに「しってもらおう じぶんのこと」「とくいなこと はっぴょうかい」で、「自分のこと」「得意なこと」をテーマに自分の思いを発信してきた。自己表現を通して、子どもたちは、自分の思いや願いを適切に伝え、他者の意見を自分の表現活動に生かし、自分の表現活動の枠を深め広げていくことができてきた。

「しってもらおう じぶんのこと」では、ほとんどの子どもが将来の夢を記事にしていた。また、3学期になって、もうすぐ二年生になる意識もできてきている。そこで、今の子どもたちなりに未来の自分を想像して「なりたい自分」を発信する場を設けることにした。

どの子どもも、「大人になった時になりたい自分」を思い浮かべることができている。その、「○○になりたい」を、「どんな○○になりたいのか」「どうしてになりたいのか」「それはどうやったらなれるのか」と、今の子どもたちなりに細かく考えることで、「いま、こんなことができる。ここまでできる。」だから「未来にはこんな人になりたいです」と、1年生なりに持っている夢を、いまの自分とつなげて発信することにつながる。発信することで自分の関心を【深める】ことになる。

交流の場では、「なりたい自分」を発信することで、感想をもらうことができる。自分の中で「なりたい自分」像をイメージしても、友だちから見た時のイメージと異なることもあるし、友だちから自分が見えていない自分のいいところを知らせてもらえたり、自分とは違うその将来の夢のイメージをもらえたりする。他者から見た自分を知り、これを活かしてさらに未来の自分を【深める】ことができる。また、友だちの発信する「なりたい自分」や、友だちからのアドバイスを聞くことで、未来の「なりたい自分」の幅を【広げる】ことにも繋がると考えられる。

これらの活動を通して、自分のことを知り、自分の思いや願いを適切に表現する力をもった子どもたちを育みたい。

(2) 単元の目標

【主体的実践力】	・今の自分を基に、なりたい自分像を、主体的に発信する力。
【協働的実践力】	・他者から見た自分に関心を持ち、なりたい自分像の形成に活かす力。
【創造的実践力】	・自己分析や、友だちからのアドバイスを基に、今の自分の枠組みにとらわれずに、なりたい自分像を作り上げたり、なりたい自分像に向けて取り組んだりする力。

(3) 活動構成の仮説

想像と創造の往還により自己発見を促し、未来をそうぞうする子どもに近づく。

本単元の想像と創造の対象は「なりたい自分像」である。まず「なりたい自分像」と「いまの自分」を比べる（現状把握的想像）。「なりたい自分」を発信することで、自分・他者から見た自分像を知る（課題解決的創造）。発信した「なりたい自分」から得た、周囲からの反応を踏まえて「なりたい自分像」をより詳しいものにする（検証的想像）。「なりたい自分」と「頑張っていること」を発表し、1年間の成長につなげる（発展提案的創造）。

3. 指導計画(全 20 時間 本時 19/20 時間目)

学びの過程	学習活動と問題意識	子どもの意識	指導者の役割	指導者の評価		
				主体的実践力	協働的実践力	創造的実践力
<p>現状把握的想像</p> <p>課題解決的創造</p> <p>検証的想像</p> <p>発展提案的創造</p>	<p>1. 自分についての、イメージマップを作成し、見直しを持つ。(1)</p> <p>2. 自分を記事にする。(2)</p> <p>3. 友だちの記事を読み、友だちの良さを見つけコメントする。(1)</p> <p>4. 友だちのコメントや、自分の過去の記事を基に記事を書く。(2)</p> <p>5. 振り返り、次に知ってもらいたい自分の得意なことを考える(1)</p> <p>6. 得意なことを発表するための準備を行う(2)</p> <p>7. 発表を行い、得意なことを深めたり広げたりする。(1)</p> <p>8. 発表を踏まえて、次の自己表現を考え、準備する。(2)</p> <p>9. がんばっていること発表会(1)</p> <p>10. なりたい自分の姿と今の自分の姿を想像する。(2)</p> <p>11. 「なりたい自分」交流。(1)</p> <p>12. なりたい自分の姿をより明確に想像する。(2)</p> <p>13. なりたい自分交流会(1時間)</p> <p>14. 1年間を振り返り、成長を確かめる。(1)</p>	<p>みんなに自分のことを知ってもらいたいな。</p> <p>たくさん書けたぞ。みんなはどんなことを書いているのかな。</p> <p>記事を読むと、友だちのことがよくわかるね。</p> <p>好きなことが同じ友だちを見つけたよ。</p> <p>私がみんなにとくに知ってもらいたいことは何だろう。</p> <p>得意なことを、見せたいな。友だちの得意なことを見たいな。</p> <p>得意なこと発表会をしよう。見せるための練習しよう。</p> <p>友だちからもほめられた。もっといろんな自分を見せたいな。</p> <p>コメントや感想がもらえたよ。次に見せたいことが決まったよ。</p> <p>自分のいいところが知ってもらえてよかったな。</p> <p>自分の得意なことや頑張りたいことが、最初よりわかってきたよ。</p> <p>自分のことについて、始めより多く表現できるようになったよ。</p>	<p>・今の自分の関心をイメージマップに書かせ、書きたい内容を想起させる。</p> <p>・友だちの記事に関心を持たせ、コメントを促す。</p> <p>・自分の記事をふりかえらせることで、関心のある内容、これから深く書いていきたい内容をつかませる。</p> <p>・みんなの前で紹介したいことを確認し、発表できる場を設定する。</p> <p>・発表者と観客に分かれ、発表者には準備を促す。観客には感想を伝えるよう声かけする。</p> <p>・感想を踏まえて、もっと見せたい自分の姿をイメージさせる。</p> <p>・「自分」のイメージマップを再度書くことで、関心の広がりや成長を感じ取らせる。</p>	<p>・主体的・継続的に自分の関心のある物事について表現する。</p> <p>・継続して記述するために、話題を主体的に探し続ける。</p> <p>・見せたい自分の姿をイメージし、イメージの実現に向けて準備や練習を行う。</p> <p>・みんなの前ですすんで発表する。</p> <p>・今の自分を基に、なりた自分像を、主体的に発信する。</p> <p>・記事や発表を通して、自分の良さについて振り返ることができる。</p>	<p>・友だちの書いた記事を見て、アイデアを得て、自分の表現活動に活かす。</p> <p>・友だちからのコメントや助言などをもとに、次の自分の表現活動を工夫する。</p> <p>・友だちの発表を見て、友だちの良いところを見つけたり、感想やコメントを伝える。</p> <p>・友だちのコメントをもとに自分の次の活動の見通しを持つ。</p> <p>・他者から見た自分に関心を持ち、なりたい自分像の形成に活かす。</p> <p>・友だちのコメントや感想を踏まえて、自分のよさについて理解しようとする。</p>	<p>・友だちに参考にされるようなアイデアを発信している。</p> <p>・発表に独自性を持っている。</p> <p>・自分や友達の記事を受けて、自分の既存の枠組みにとらわれず見せたい自分の姿をイメージし、実現に向けて取り組める。</p> <p>・今の自分の枠組みにとらわれずに、なりたい自分像を作り上げたり、なりたい自分像に向けて取り組んだりする。</p> <p>・4月当初と比べて、新しく取り組んだことがらを見出す</p>